

里山は宝の山！

ー多様な人々の経験を活かした交流と学びの推進と保全・活用による地域の魅力づくりー

1. はじめに一人をひきつける里山とはー

2. 事例紹介

(1) 社会教育と里地里山の保全活用ーおじいちゃん・おばあちゃんが先生ー
(山形県)

- 1) 社会教育と地元学
- 2) 学んだ(気づいたこと)ことを生かす
- 3) おじいちゃん・おばあちゃんたちをいかすしかけ(里の先生)
- 4) 取組みの展開

(2) 森のようちえんーNPO 大地の取組みー(長野県)

- 1) 集落の里山を生かした保育園
- 2) 手づくり、理想の幼児子ども教育を目指して
生活の息遣いを感じることができる里山で
- 3) 遠方からも、さまざまな若い人々・子どもたちが移住

(3) 里地里山の生きものを利用した地域づくり

- 1) 生きものブランド作りと活用
- 2) 各地の事例 トキからミツマタまで

(4) 里なびの取組みから

- 1) 計画作りと連携・協働の仕組みづくり
- 2) 里地里山の多様な保全技術・活用技術
- 3) 情報の活用

3. 取組を広げ活性化するためのアイデアと手法を考える

- 1) 地域資源と人の発掘とかかわりの創出(秦野のたっしやもんによせて)
- 2) ネットワーク型の学びの推進
- 3) 持続・継続のためのアイデア、そして生業作りを
 - ・留意点(公共空間におけるメリット創出後の危機、初動からの行政・市民の関係構築の重要性)

4. おわりにー次世代につなぐために考えることー